

System Advantages for You

BOM for Windows Ver.7.0

製品機能紹介資料

SR4 / 対応OS追加版

2022年8月

セイ・テクノロジーズ株式会社



会社概要

システム管理者やパートナーに利便性のある製品を市場に提供するためのメッセージ「**System Advantages for You**」を企業ミッションとしております。

会社名 セイ・テクノロジーズ株式会社

本社所在地

〒112-0005
東京都文京区水道1丁目12-15 白鳥橋三笠ビル8階



資本金 / 設立

9,000万円 / 2001年3月



主要役員

代表取締役社長 三瓶 千里

事業内容

オープン系サーバーシステムの運用管理ソリューションの提供

- ・自立分散型サーバー監視ソフト『BOM for Windows』の開発・販売
- ・高機能ジョブスケジューラー『Job Director』の開発・販売
- ・サーバー設定仕様書自動生成サービス『SSD-assistance』の開発・販売
- ・クラウドストレージ活用ツール『CSDMT』の開発・販売
- ・その他、運用管理に関するコンサルティング・技術支援・開発



B O M for Windows

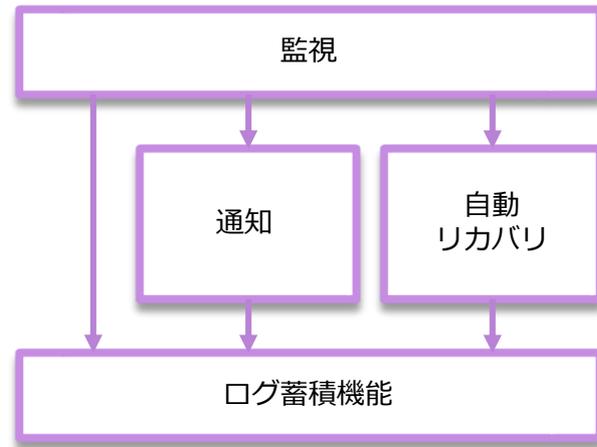
自立分散型サーバ監視ソフト

BOM
for Windows

Version 7.0

監視ソフトウェア「BOM」の歩み

- 累計 50,000 ライセンス以上の出荷実績
- ベンダー様の保守ツールとして多数の運用実績



Windows NTの時代、システム管理者が朝出勤して数多くのログをチェックする工数を削減したいという想いから生まれたエンドユーザー目線のサーバー監視ソフトウェアです。



Windowsプラットフォーム ソリューションから サーバー監視業務ソリューションへ

サーバーを運用するにあたり避けて通れない業務の一つとして、日々のシステム稼動チェックが挙げられます。

サーバーごとに異なるポイントを一つ一つ手順書に沿って行うチェック作業は、サーバーの台数が増えるに従って大きな負担となり、結果として重大な障害を見落とす可能性があります。

そこで、BOM for Windows Ver.7.0 では、障害を検知・通知するだけでなく、あらかじめ設定したポイントでシステムが正常に稼動していることをお知らせすることにこだわりました。

BOMの特長

エンドユーザー目線で
設計された
システム正常稼動
確認支援ツール



サーバー監視ツール

- サーバー監視に特化したツールから発展
- エラー＝アラートではない様々なアラート管理
- ログ監視へのこだわり



操作が簡単

- 監視業務の属人化防止
- GUIによるシンプルな設定画面
- インストールから10分で監視がスタートできるシンプル構成



豊富な実績

- 累計50,000ライセンス以上の出荷実績
- 保守ツールとしても多数のBOMを運用中
- 監視業務フローを考慮した設計



国産メーカー

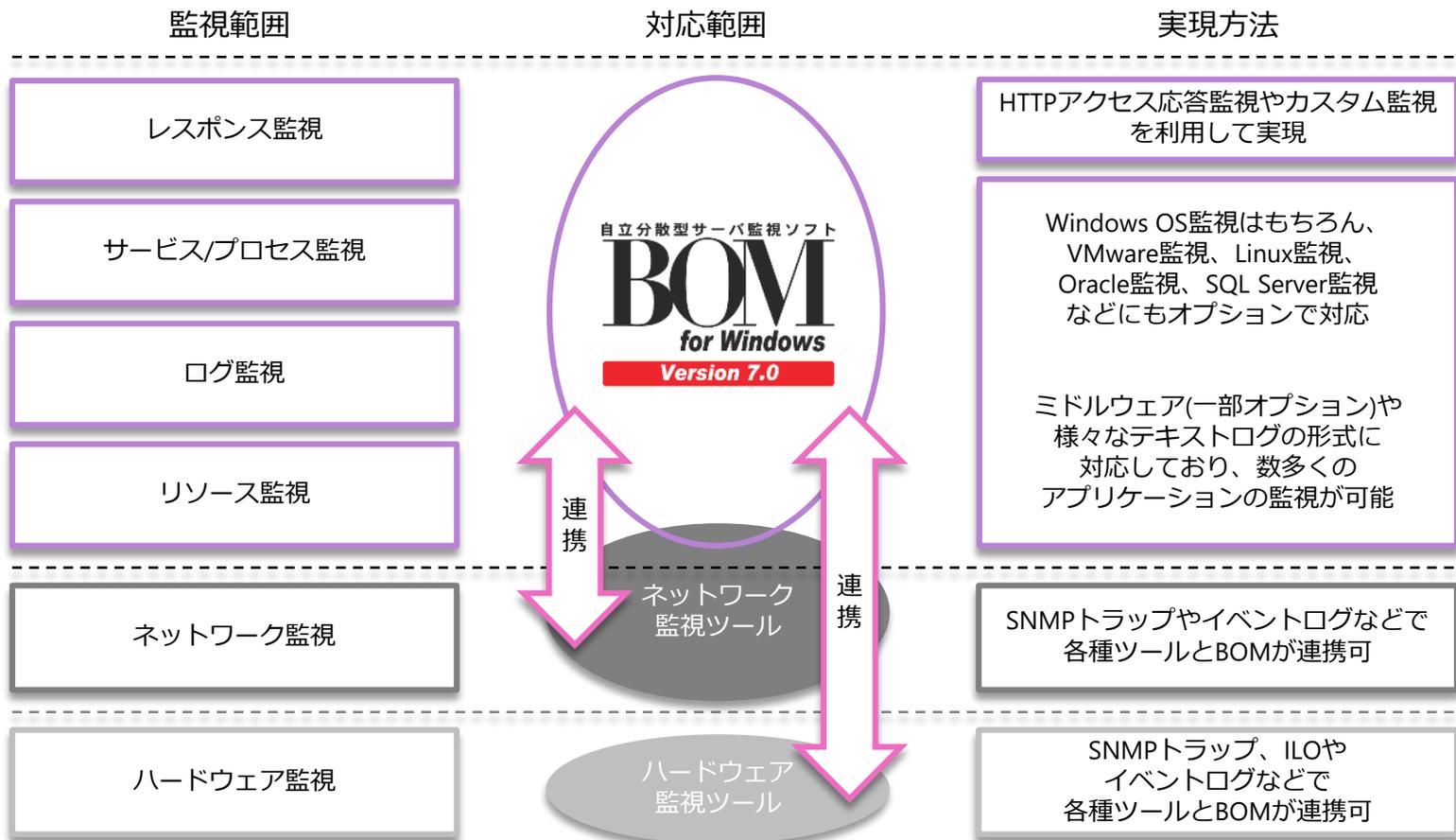
- 国内開発、トラブルの対応時もソースレベルから解析可能
- 日本人スタッフによる安心のサポート体制



低価格

- 基本パッケージで、OSからアプリケーションまで監視可
- サポートが必要なときのみ、必要なインシデントご購入

BOMの製品ポジショニング



機能概要

自立分散型サーバ監視ソフト

BOM
for Windows

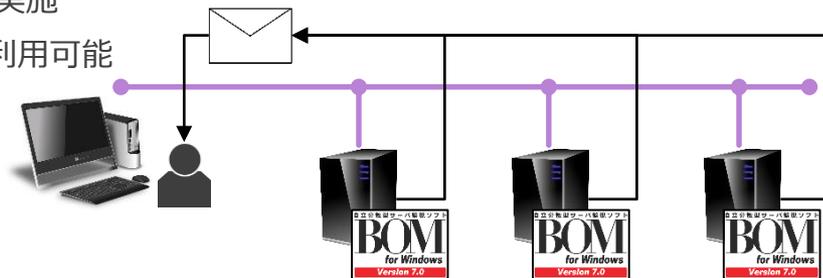
Version 7.0

BOMの構成

自立分散型

監視対象サーバーにBOMを直接導入、自己の体調管理(監視)を実施
監視専用機器、データベースは不要でサーバー1台の監視から利用可能
※分散したBOMの管理画面は、1ヶ所に統合することが可能

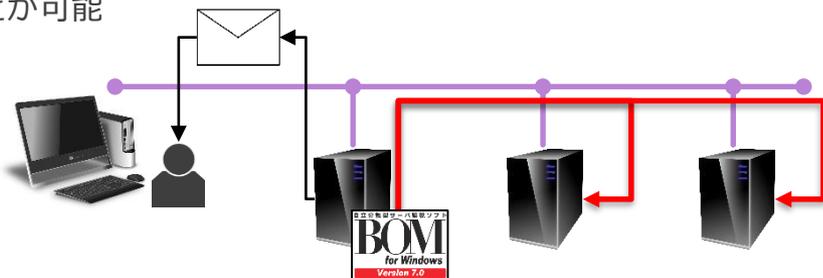
- 右図の必要ライセンス数 --
- 自立分散監視 3ライセンス
 - 合計3ライセンス



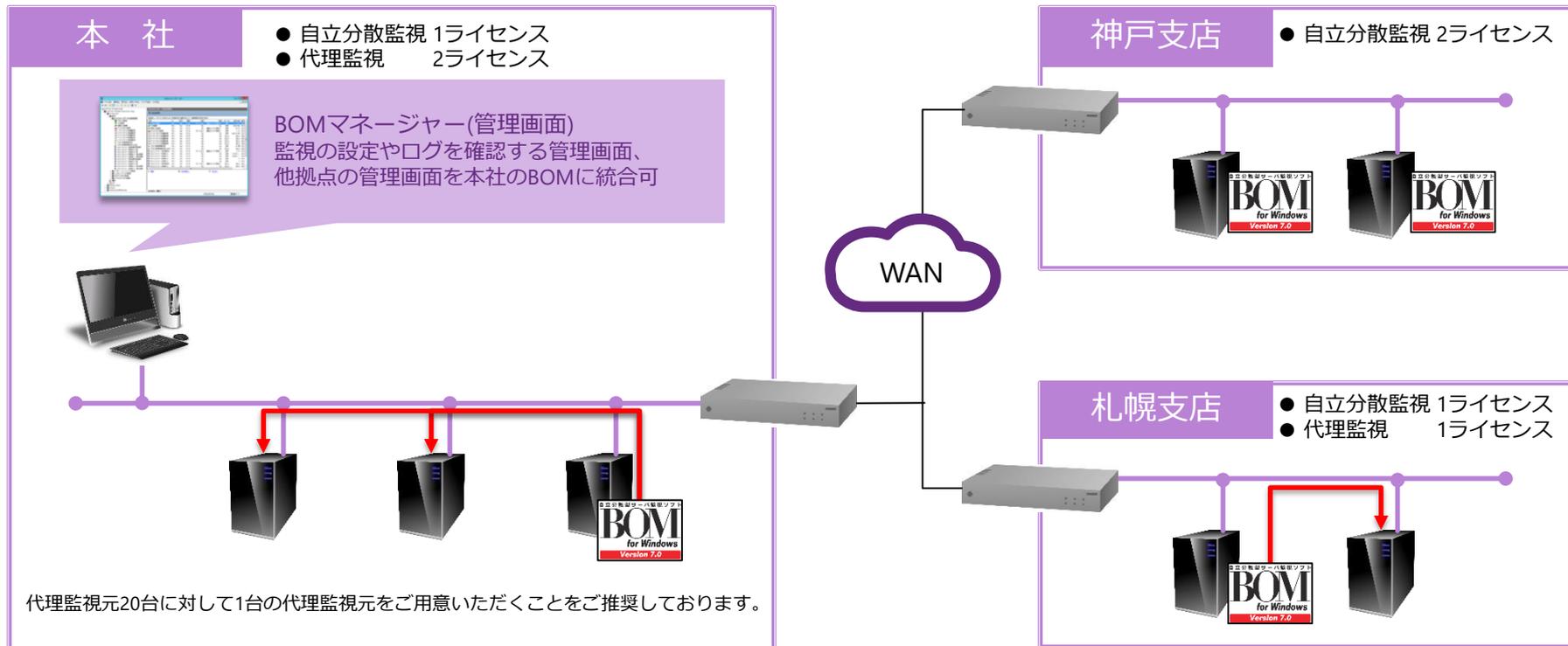
代理監視型 (Agent less)

監視対象サーバーにBOMを導入することなく、監視を行うことが可能
自立分散型と機能に差異はなく、1台対N台の監視構成が可能
※BOMの管理画面は監視元サーバーのみに存在

- 右図の必要ライセンス数 --
- 自立分散監視 1ライセンス
 - 代理監視 2ライセンス
 - 合計3ライセンス



BOMの構成 - ネットワーク構成例



(黒線) 拠点間の通信は、20070番ポート使用。

(赤線) 監視元サーバーと監視先サーバーの通信は、445番ポートと下記のTCP動的を使用。・リモートサービス管理(RPC-EPMAP)・リモートイベントのログ管理(RPC)

BOMの構成 - 操作画面

ユーザー目線で設計された直感的な操作画面。

集中監視コンソール

BOMマネージャー(管理画面)

監視項目 設定画面 例

The image shows three computer monitors displaying different parts of the BOM monitoring software interface. The left monitor shows the '集中監視コンソール' (Central Monitoring Console) with a list of monitored items and their status. The middle monitor shows the 'BOMマネージャー(管理画面)' (BOM Manager (Management Screen)) with a table of monitoring items and their configuration. The right monitor shows the '監視項目 設定画面 例' (Monitoring Item Setting Screen Example) with a configuration window for disk space monitoring.

監視対象 (Monitoring Target)

名前	ID	有効	閾値	注意	色	ステータス	最新の値	前回実行時刻
予設処理待ち行列監視	MON_1	Yes	1分	10以上	連続した3回	正常	6	2017/04/05 10:20:25
予設処理待ち行列監視	MON_2	Yes	1分	85%以上	連続した3回	正常	48%	2017/04/05 10:20:25
メモリ監視	MON_3	Yes	1分	128MB以下	54MB以下	正常	5845 MB	2017/04/05 10:20:25
仮想メモリ監視	MON_4	Yes	1分	85%以上	連続した3回	正常	26%	2017/04/05 10:20:25
ディスクアクセス監視	MON_5	Yes	1分	90%以上	連続した5回	注意	27%	2017/04/05 10:20:25
Cドライブディスク容量監視	MON_6	Yes	1分	5以上	連続した5回	正常	4	2017/04/05 10:20:25
Cドライブディスク容量監視	MON_7	Yes	30分	15%以下	10%以下	正常	23%	2017/04/05 10:19:25

しきい値 (Threshold)

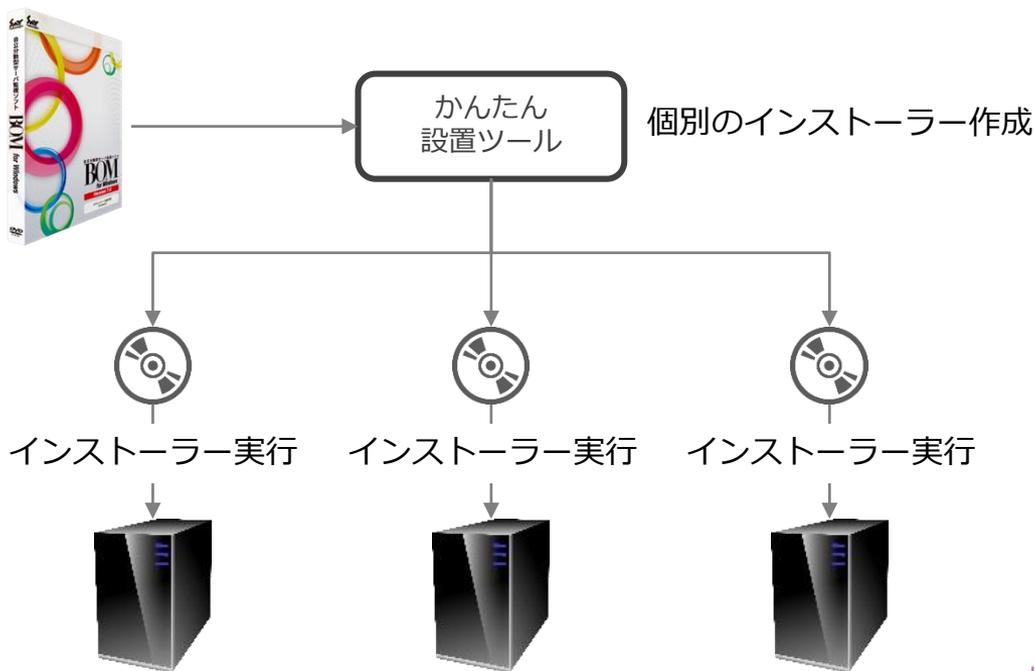
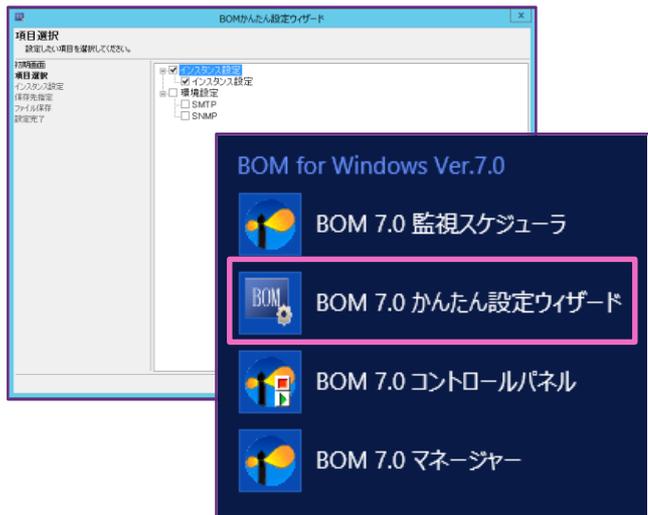
監視結果 (Monitoring Result)

BOMの構成 - かんたん設定ツール

あらかじめ設定した内容のインストーラーを作成。

対象のサーバー上でインストーラーを実行するだけで、インストールから設定、ライセンス認証まで完了。

かんたん設定ツール画面



監視機能

主要な監視項目

リソース監視：8種類

ディスク容量監視	論理ディスクの空き容量を監視
フォルダー・ファイル監視	フォルダーやファイルの容量や数量を監視
プロセッサ監視	プロセッサ(CPU)の使用率を監視
メモリ監視	メモリの空き容量を監視
ディスクアクセス監視	ディスク負荷状況を監視
ネットワークインターフェイス監視	ネットワークの負荷状況を監視
プロセス監視	プロセスの各種パフォーマンスを監視
パフォーマンスカウンター監視	パフォーマンスカウンターの値を監視

リモート監視：2種類

Ping監視	Ping(ICMP ECHO)疎通監視
ポート監視	TCP/UDPポート疎通監視

ログ監視：3種類

イベントログ監視	イベントログを監視(除外指定/選択指定が可)
テキストログ監視	任意のテキストログファイルを監視
BOM履歴監視	BOMの履歴ログを監視

稼働監視：2種類

サービス監視	サービスの状態(開始/停止)を監視
プロセスリスト監視	プロセス一覧を取得し、稼働状況を監視

その他監視：7種類

インストールソフトウェア変更監視	Windows Update監視
AWS S3ストレージ容量監視	iLOログ監視
iRMCログ監視	HTTPアクセス応答監視 (SR4新機能)
カスタム監視	

監視機能 - 設定例

イベントログ監視

OSのイベントビューアーに情報を出力するアプリケーションなどを監視

パフォーマンスカウンター監視

独自のパフォーマンスカウンターを持つアプリケーションなどを監視

サービス監視

サービスとして動作しているアプリケーションなどを監視

フォルダーファイル監視

日々、容量が変化する共有フォルダーやファイルなどを監視

監視機能 - 監視テンプレート

「監視テンプレート」を無償公開、サーバー構成に合わせて「監視テンプレート」を選択。

監視テンプレート			
ログ	アプリケーションイベントログ システムイベントログ	Windows レポート向け監視項目 Linux レポート向け監視項目	セキュリティログ Linux テキストログ監視
アプリケーション	Backup Exec Arcserve Backup Arcserve UDP Veritas System Recovery Activelmage Protector	Active Directory DNS Server DHCP Server Windows Defender SQL Server	McAfee TREND ウイルスバスター Symantec ESET
OS	Windows システム監視	Linux システム監視	Amazon EC2 システム監視
ハードウェア	NEC ESMPRO ServerManager NEC ESMPRO ServerAgent	Dell OpenManage ServerAgent Fujitsu ServerView Agents	HP System Management

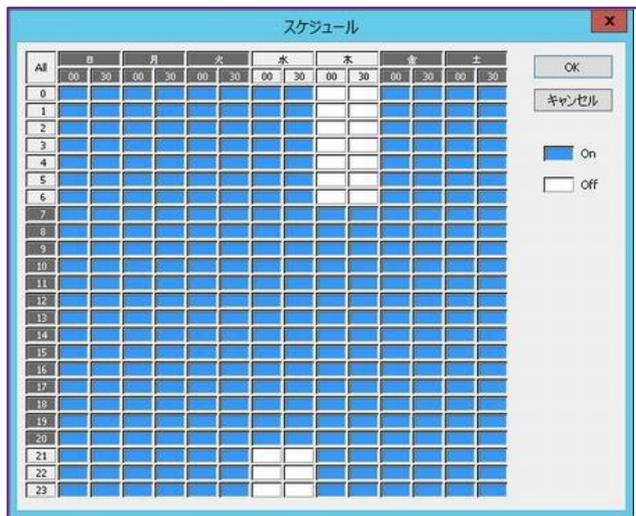
ホームページ上に、最新版を随時公開しております。ご覧ください。

<http://www.say-tech.co.jp/bom70-template>

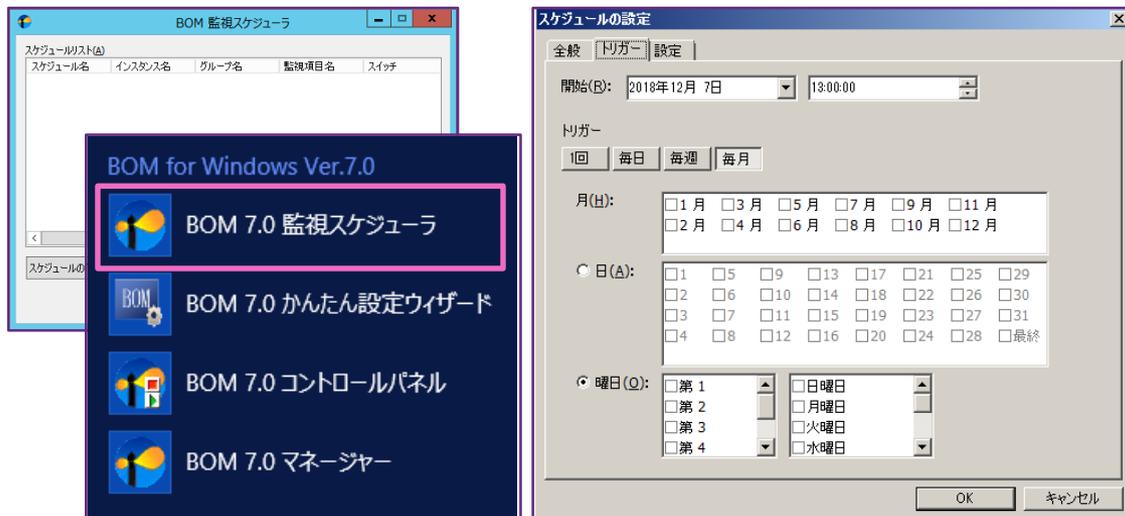
監視機能 - スケジュール機能

30分単位と1分単位の2種類のスケジューラで監視の有効/無効の設定が可能。
スケジュールの目的や運用状態にあわせた設定が可能。

グループスケジューラ設定画面(30分単位)

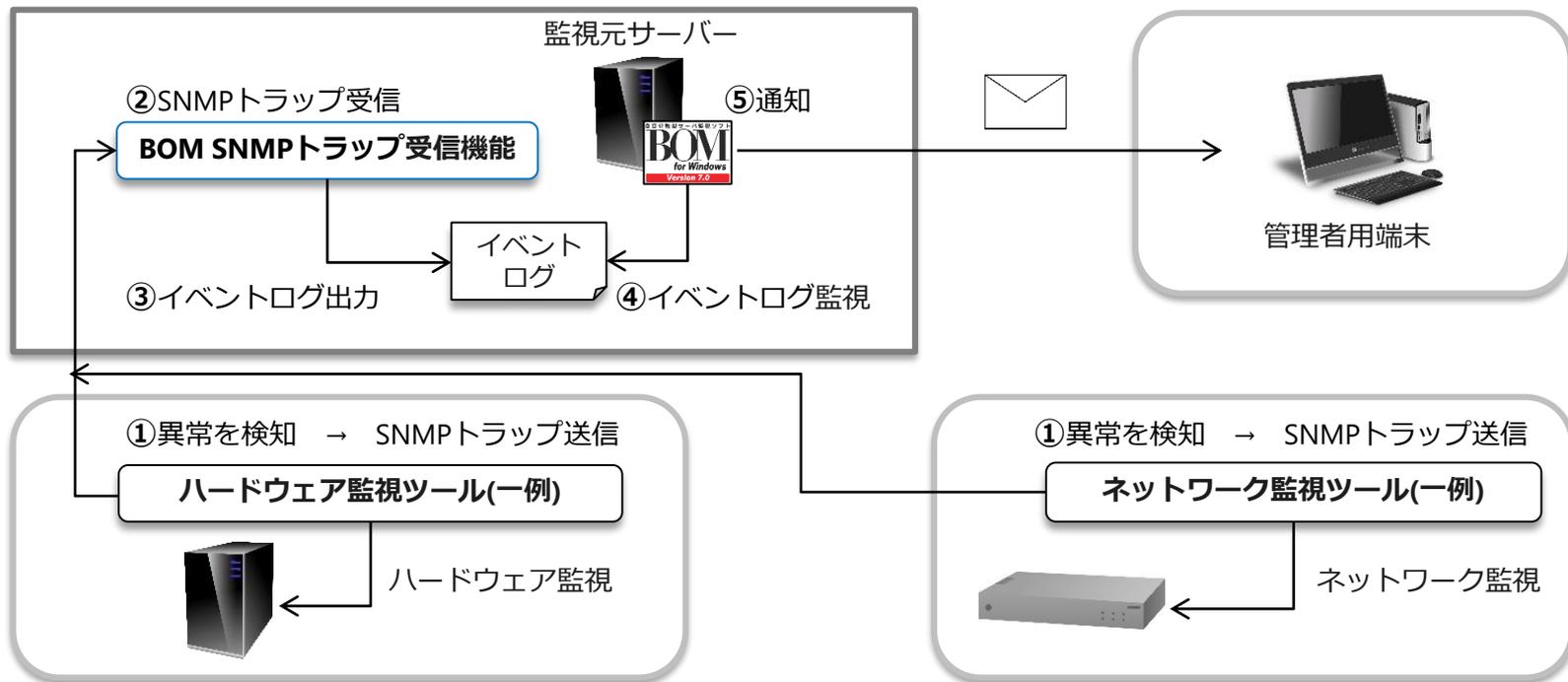


監視スケジューラ設定画面(1分単位)



監視機能 - SNMPトラップ受信機能

ネットワーク機器などから送信される SNMPトラップをBOMで監視可能。
受信したSNMPトラップはMIBでデコードの上、イベントログに出力後、監視。



通知・リカバリー機能

主要な通知項目

メール送信	SMTP形式のメール通知	*Microsoft 365対応
SNMPトラップ送信	SNMP形式のトラップ送信による通知	
イベントログ書き込み	Windowsイベントログへの書き込みによる通知	
syslog送信	syslogサーバーへsyslog形式のメッセージを送信	
カスタム通知	外部アプリケーションを利用した通知	*パトライト等の警告灯の点灯が可能

主要なリカバリー項目

サービスコントロール	サービスの開始/停止/再起動を制御
シャットダウン	Windowsのシャットダウン/再起動を制御
監視有効/無効	監視グループ/監視項目の有効化/無効化制御
カスタムアクション	外部アプリケーションを利用した制御

通知・リカバリ機能 - 設定例

各監視項目 + カスタム通知

メールだけではなく、視覚的にも警告灯などで異常を知らせたい・・・

プロセス監視 + サービスコントロール

メモリリーク傾向があるアプリケーションを適切なタイミングで再起動したい・・・

イベントログ監視 + 監視有効/無効

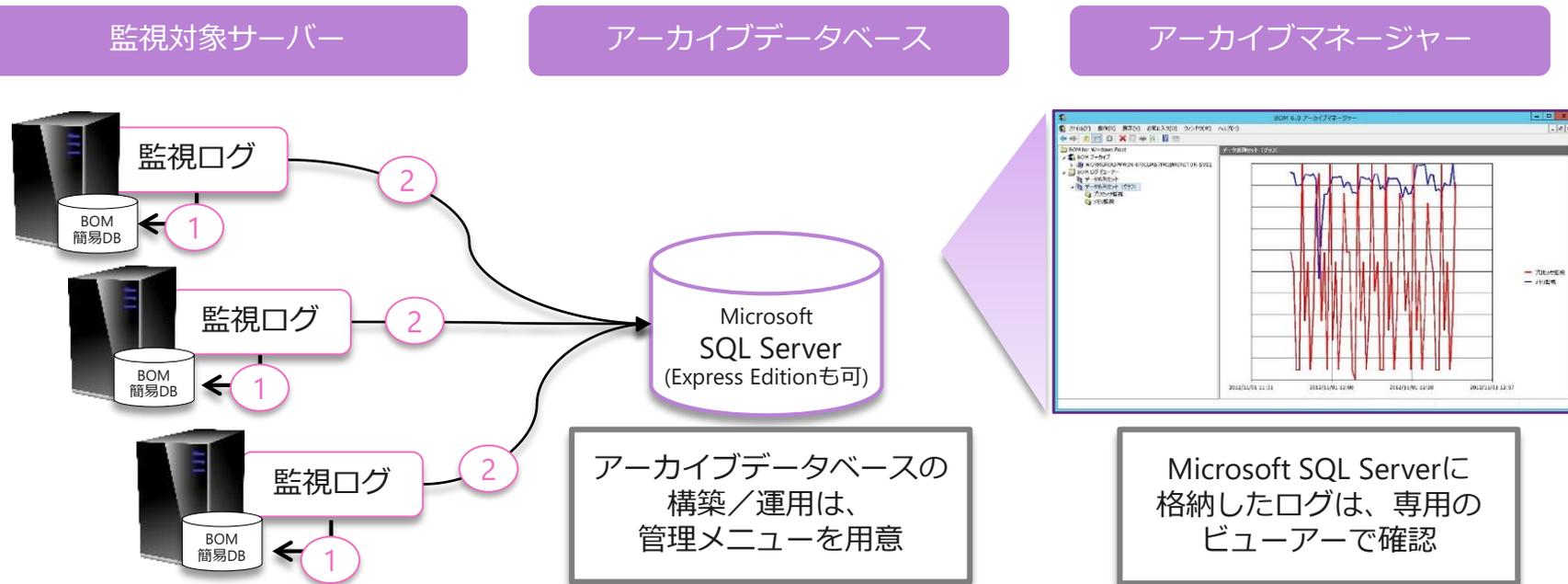
データベースのバックアップ中は、特定の監視項目のみを止めたい・・・

フォルダーファイル監視 + カスタムアクション

ログが肥大化する前にログを特定サーバーに退避させて不要なログを削除したい・・・

ログの蓄積

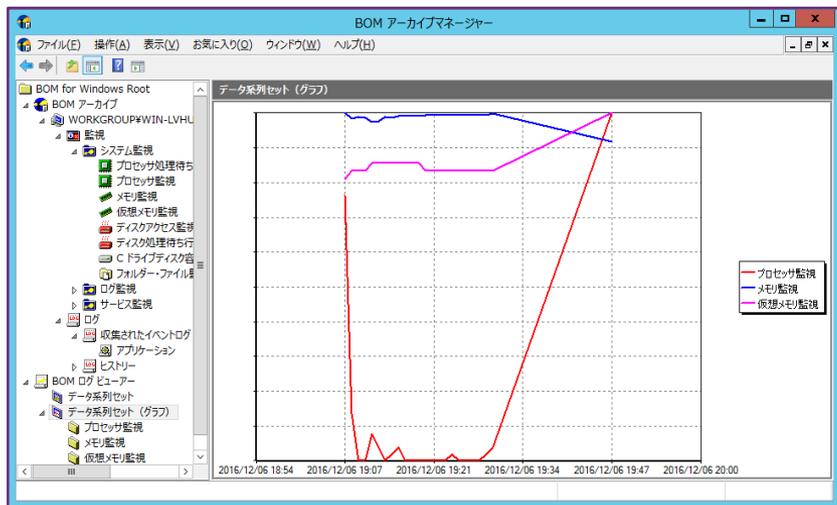
- ① 監視項目15,000レコードまで監視ログをBOMに蓄積可能。
- ② 長期保存が必要な場合、Microsoft SQL Serverにアーカイブ可能。
アーカイブデータベース導入/運用のための管理メニューを用意。



ログの蓄積 - アーカイブマネージャー

BOM アーカイブマネージャーでは、アーカイブデータベースに蓄積された監視データログを監視項目ごとにリストで表示することや複数の監視項目のデータグラフを重ね合わせて表示可能。

無償版SQL Server Express Edition との組み合わせで監視データを簡単グラフ化



The screenshot shows the 'プロセッサ監視' (CPU Monitoring) list. The table displays the status, execution time, name, and value for each monitoring event.

ステータス	実行日時	名称	値
① 正常	2016-12-06 19:27:52	プロセッサ監視	0%
① 正常	2016-12-06 19:26:52	プロセッサ監視	0%
① 正常	2016-12-06 19:25:52	プロセッサ監視	0%
① 正常	2016-12-06 19:24:52	プロセッサ監視	0%
① 正常	2016-12-06 19:23:52	プロセッサ監視	1%
① 正常	2016-12-06 19:22:52	プロセッサ監視	0%
① 正常	2016-12-06 19:21:52	プロセッサ監視	0%
① 正常	2016-12-06 19:20:52	プロセッサ監視	0%
① 正常	2016-12-06 19:19:52	プロセッサ監視	0%
① 正常	2016-12-06 19:18:52	プロセッサ監視	0%
① 正常	2016-12-06 19:17:52	プロセッサ監視	0%
① 正常	2016-12-06 19:16:52	プロセッサ監視	0%
① 正常	2016-12-06 19:15:52	プロセッサ監視	2%
① 正常	2016-12-06 19:14:52	プロセッサ監視	1%
① 正常	2016-12-06 19:13:52	プロセッサ監視	0%
① 正常	2016-12-06 19:12:52	プロセッサ監視	2%
① 正常	2016-12-06 19:11:52	プロセッサ監視	4%
① 正常	2016-12-06 19:10:52	プロセッサ監視	0%
① 正常	2016-12-06 19:09:52	プロセッサ監視	0%
① 正常	2016-12-06 19:08:52	プロセッサ監視	7%

Microsoft SQL Server バージョン情報 : 「BOMアーカイブデータベース」

<https://www.say-tech.co.jp/product/bomwin70/requirements>

ログの蓄積 - レポート出力 (オプション製品)

集計・自動分析するレポート出力。保守報告書としての活用可能。
Windowsだけではなく、LinuxやVMwareのレポートシートもご用意。

レポートは21種類レポートシートの中から選択して出力可能

レポートシート一覧

サーバー診断レポート	プロセス詳細情報	全インスタンス概要
過去比較情報	ディスククォータ情報	ArcserveUDIPv6ログリスト
詳細グラフ情報	アプリケーションログ情報	Hyper-V仮想環境レポート
システム基本情報	システムログ情報	VMwareサーバー診断レポート
ハードウェア情報	セキュリティログ情報	VMwareシステム基本情報
ソフトウェア情報	セキュリティログ詳細	VMware詳細グラフ情報
ハードウェア・ソフトウェア差分情報	テキストログ情報	VMwareログ情報

ログの蓄積 - レポートサンプル (オプション製品)

サーバー診断レポート



【自動分析のコメント例】

CPU使用率は平均84.87%であり、最大値も8月9日9時31分に99.00%です。早急な上位機種へアップグレードをお勧めします。

ディスク使用量(C:)は平均3.21%であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。

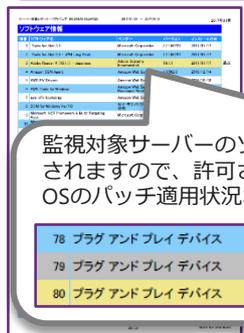
過去比較情報



【過去比較情報】

- サーバー診断結果
CPU負荷、メモリ状況、仮想メモリ状況、HDD状況、HDD使用率
- ネットワーク診断結果(NICごと)
IN使用率、OUT使用率
IN損失件数、OUT損失件数

ソフトウェア情報



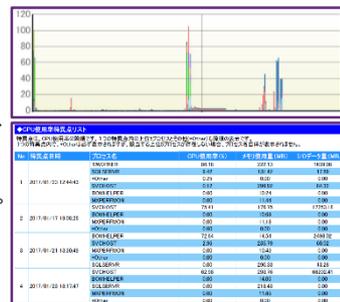
監視対象サーバーのソフトウェアの「追加」・「削除」状況がピックアップされますので、許可されていないアプリケーションのインストール監査や、OSのパッチ適用状況などを把握することができます。

ID	ソフトウェア名	ステータス	アクション
78	ブラグアンドプレイデバイス Volume Manager	インストール済み	
79	ブラグアンドプレイデバイス WebEx Document Loader (リダイレクト 2) (リダイレクト 2)	インストール済み	削除
80	ブラグアンドプレイデバイス ボリューム PVIDISK	インストール済み	追加

プロセス詳細情報



レポート出力期間の特異タイミングを検出、各プロセスのリソース使用状況を抽出してレポートに出力します。



SR4の新機能ご紹介

自立分散型サーバ監視ソフト

BOM
for Windows

Version 7.0

A hallway with patterned wallpaper and a row of doors. A purple semi-transparent banner is overlaid across the middle of the image, containing white Japanese text. The floor is made of wooden planks.

何よりも難しいのは
「何を監視すべきか」判断すること

ご支持いただくシステム管理者様からの声



BOMの設定は
簡単だけど
そもそも、何を
監視したらいいの？

● システム管理者様からのご支持

わかりやすいGUI画面での設定や豊富な監視テンプレートの提供など、システム管理者目線でこだわりをもって開発・販売しており、多くのお客様にご支持いただいております。

● 「何を監視すべきか」判断が難しい

システム管理者様から“**そもそも何を監視すべきか判断するのが難しい**”というお声を多数いただきました。「簡単に設定できること」も重要ですが、「何を監視すべきか」という問題を解決することも必要です。

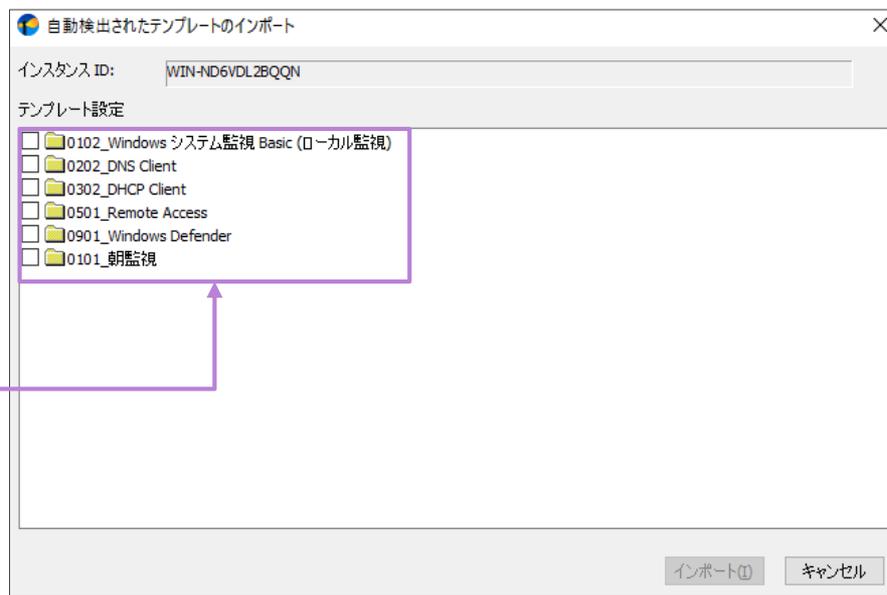
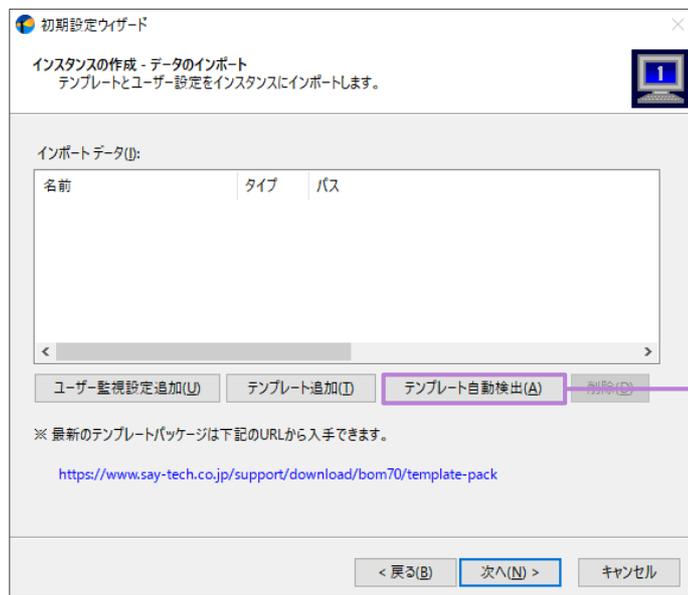
● システム監視はユーザー視点が必要

システム監視の目的ともいえる「ユーザー視点でシステムが快適に稼動しているか」を把握するうえでも、適切な監視設定は欠かせません。

システム管理者の「何を監視すべきかわからない」を解決！

監視すべきテンプレートを自動検出

監視テンプレート自動検出機能を利用することにより、監視対象サーバーの情報を元に監視すべきテンプレートを自動検出し、一括導入が可能。「何を監視すべきか」といった悩みを解決し、適切な監視項目の設定を支援します。

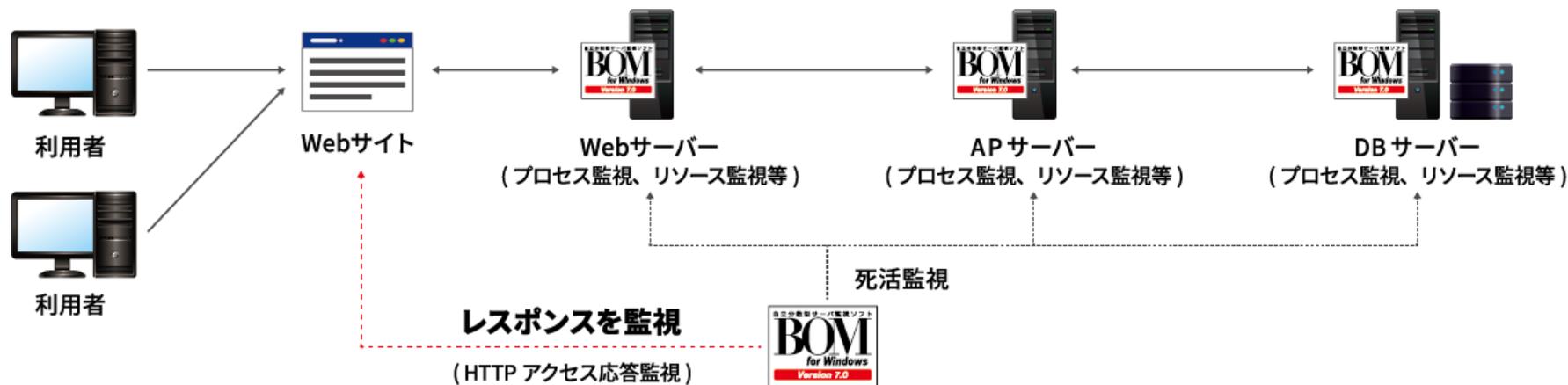


最新のテンプレートパッケージ

<https://www.say-tech.co.jp/support/download/bom70/template-pack>

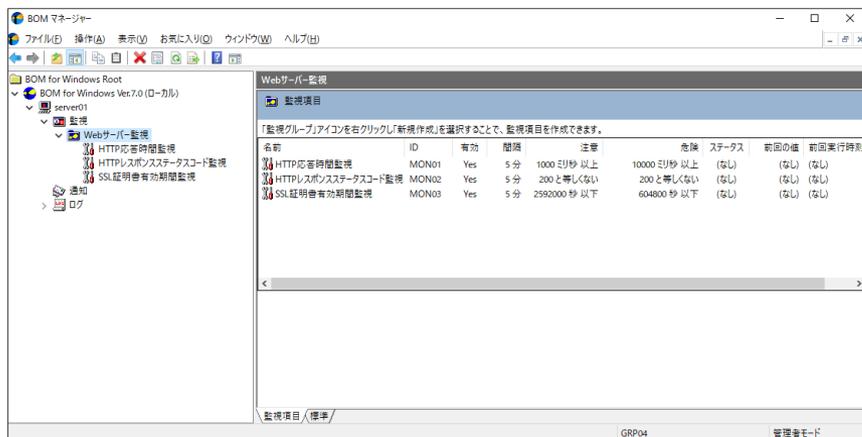
Webサービスのレスポンスを監視

HTTPステータスコードや応答時間の監視を行うことで、ユーザー視点でWebサービスが快適に稼働しているか確認可能。パフォーマンスの異変をいち早く捉え、システムのどこに原因があるか迅速に切り分け、原因究明を支援します。



HTTPアクセス応答監視詳細

HTTPアクセス応答監視は以下の3つの監視設定から構成されています。



● HTTPレスポンスステータスコード監視

対象のウェブサイトへアクセスした際に返却されるHTTPステータスコード（100～599の整数値）を監視対象にします。

● HTTP応答時間監視

対象のウェブサイトへアクセスした際の応答時間をミリ秒の単位で取得し、その値を監視対象とします。

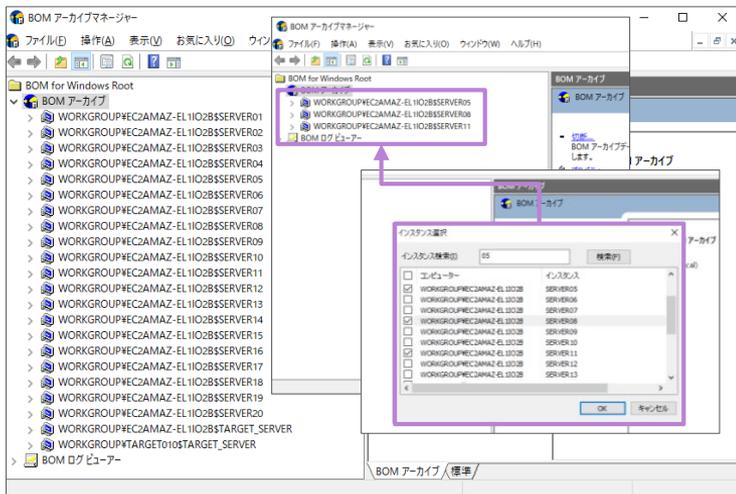
● SSL証明書有効期間監視

対象のウェブサイトに登録されたSSL証明書の有効期間（監視時点から証明書の有効期限終了日時までの時間）を秒の単位で取得し、その値を監視対象とします。

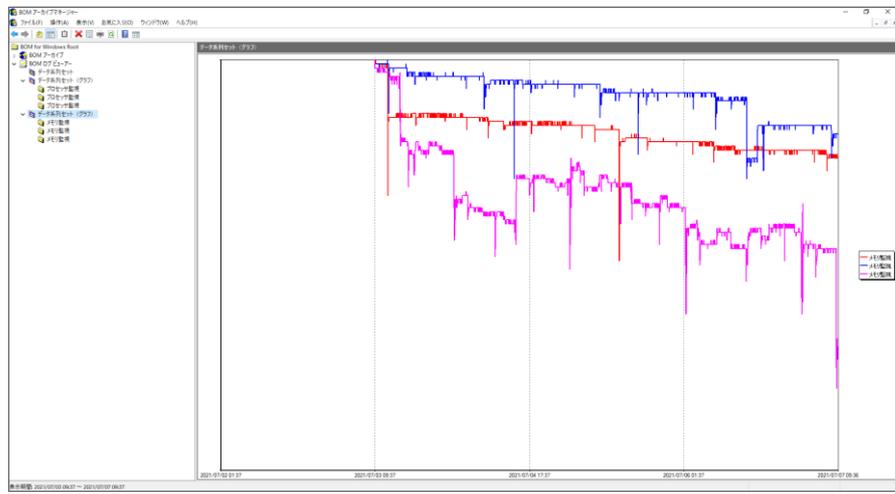
アーカイブマネージャーの検索機能を改善

多くのITシステムは複数のサーバーから構成されています。パフォーマンス低下や障害時にはこれらを俯瞰的に観察や分析が必要です。BOMアーカイブマネージャーの検索機能を改善することにより、対象サーバーを検索しやすくなり、より一層簡単に複数台の比較グラフを作成できます。

アーカイブマネージャーの検索機能改善



複数台の比較グラフ



その他強化ポイント

使いやすさを追求し、管理者の要望を反映した機能の追加と強化を行いました。

【新機能・機能拡張】

- Red Hat Enterprise Linux 8.4 に対応 (オプション製品)
- 公開済みテンプレートを含む以下の監視テンプレートを追加
 - Hyper-V レプリカ監視テンプレート
 - Windows Server Backup 監視テンプレート
 - Arcserve UDP v7 監視テンプレート
 - ActiImage Protector 2018 ServerEditon 監視テンプレート
 - ActiImage Protector 2018 -RE 監視テンプレート
 - Arcserve RHA 18.0 監視テンプレート
 - Backup Exec 21 監視テンプレート
- AWS 新リージョン対応
- BOMアーカイブサーバーのトランザクションファイルサイズを見直し
- OpenSSLを更新

オプション製品

自立分散型サーバ監視ソフト

BOM
for Windows

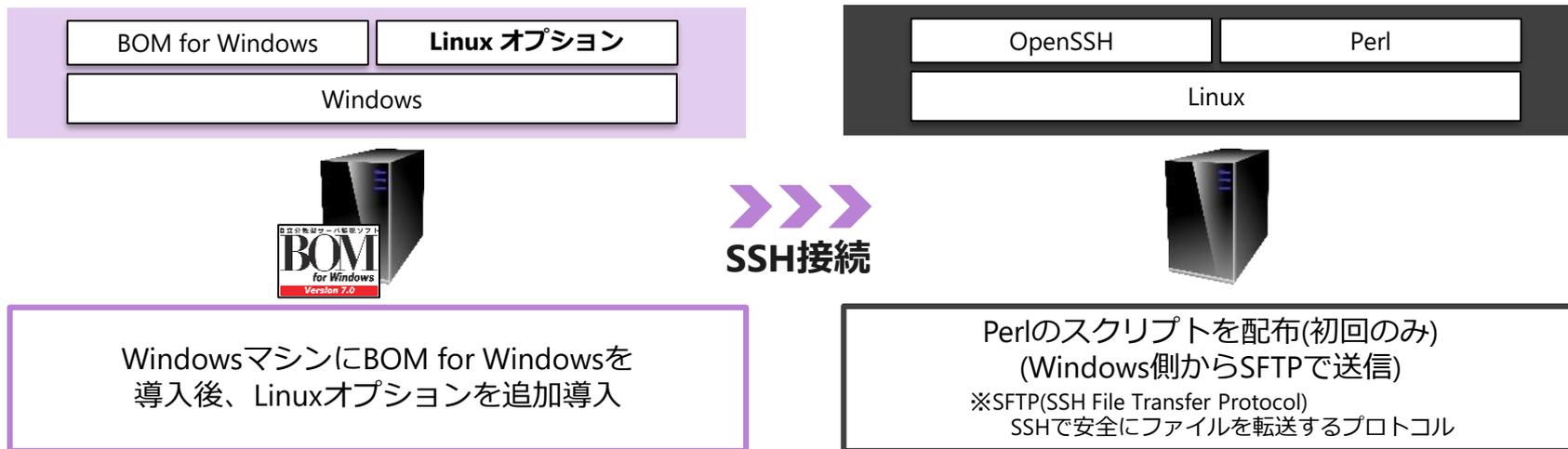
Version 7.0

オプション製品の機能概要

Linux	追加される機能	監視	① ディスク容量監視 ② ディレクトリ・ファイル監視 ③ サービスポート監視 ④ プロセッサ監視 ⑤ メモリ監視 ⑥ ディスクアクセス監視 ⑦ プロセス監視 ⑧ ネットワークインターフェイス監視 ⑨ テキストログ監視 ⑩ スクリプト監視
		通知・リカバリー	① SYSLOG書き込み ② プロセスコントロール ③ シャットダウン ④ スクリプト実行
Oracle	追加される機能	監視	① 表領域の使用量・使用率監視 ② 同時セッション数監視 ③ 表領域の最大空き容量監視 ④ エクステンツ増分回数監視 ⑤ ストアドファンクションの実行
SQL Server	追加される機能	監視	① データベースの使用量・使用率監視 ② 同時セッション数監視 ③ データベースの最大空き容量監視 ④ エクステンツ増分回数監視 ⑤ ストアドファンクションの実行
VMware	追加される機能	監視	① ストレージ空き容量監視 ② ハードウェアステータス監視 ③ パフォーマンスカウンター監視 ④ ステータス監視 ⑤ 仮想マシン数監視 ⑥ VMwareイベント監視 ⑦ VMwareタスク監視 ⑧ VMwareビューアデータ収集
		リカバリー	① VMwareステータスコントロール(ホスト/ゲスト)
Report	追加される機能	レポート	① サーバー診断レポートや過去比較情報等21種類から選べるレポート出力

構成例 - Linux オプション

Windowsサーバーに導入したBOMから、SSH経由でLinuxサーバーを監視
WindowsサーバーのBOMからGUIを利用して操作を行うため、Linuxは意識不要



動作環境	Red Hat Enterprise Linux (32-bit/64-bit)	Ver.6.x(32-bit / 64-bit) / Ver.7.1以降(64-bit) / Ver.8.x以降(64-bit) *1
	コンポーネント	OpenSSH Ver.2.30 以上 Perl Ver.5.8.0 以上

*1 : 2022/8/5現在、8.6まで動作確認済み。

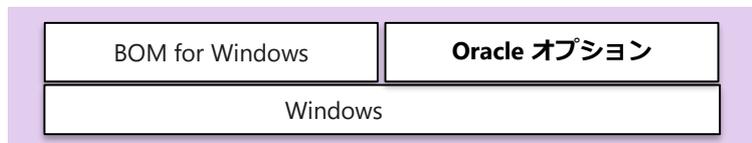
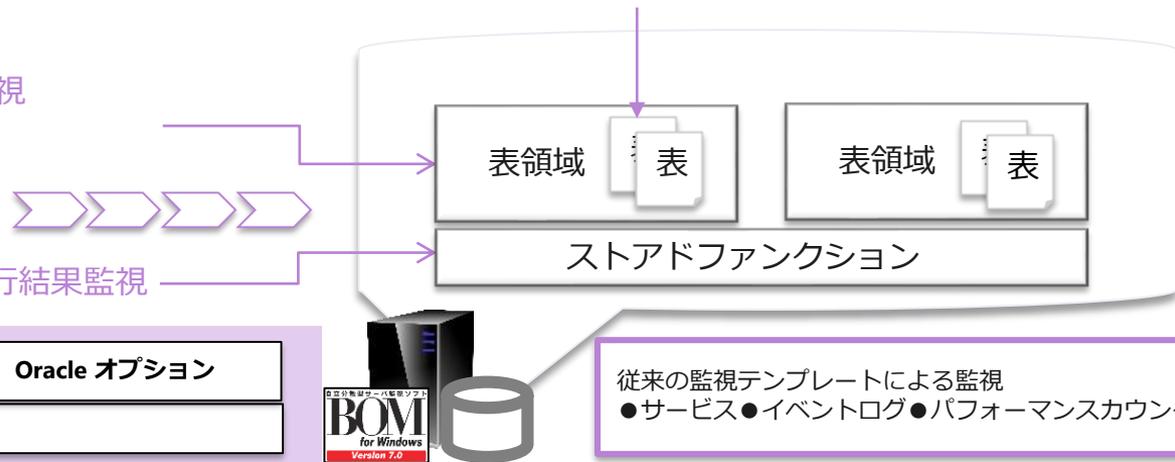
構成例 - Oracle オプション

Oracleデータベースサービスに接続してOracle表領域などを監視

Oracleを使用するアプリケーション目線で、Oracleデータベースの監視が可能

● エクステント増分回数監視

- 表領域 使用容量 / 使用率監視
- 表領域 最大空き容量監視
- 同時セッション数監視
- ストアドファンクション実行結果監視



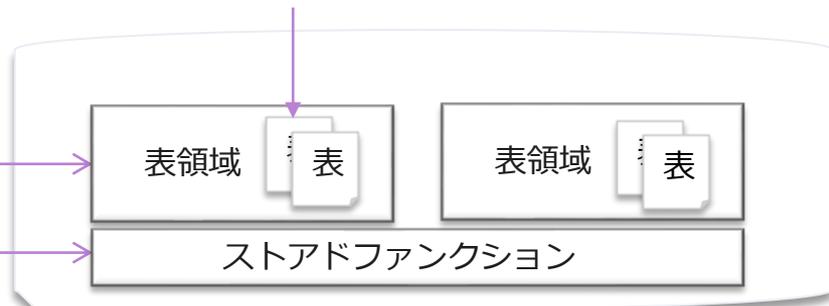
動作環境	Oracle Database 11g	Release 2 Windows x64
	Oracle Database 12c	Release 1 Windows x64 / Release 2 Windows x64
	Oracle Database 18c	Windows x64
	Oracle Database 19c	Windows x64
	Oracle Database 21c	Windows x64

構成例 - SQL Server オプション

ODBCドライバー経由でSQL Server サービスに接続してデータベースなどを監視
SQL Serverを使用するアプリケーション目線で、SQL Serverの監視が可能

● エクステンション増分回数監視

- データベース 使用容量 / 使用率監視
- データベース 最大空き容量監視
- 同時セッション数監視
- ストアドファンクション実行結果監視

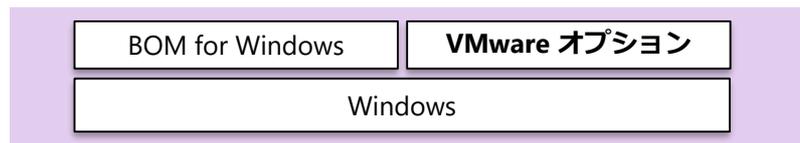


従来の監視テンプレートによる監視
● サービス ● イベントログ ● パフォーマンスカウンター

動作環境	SQL Server 2012 (64-bit) 各エディション	SP4
	SQL Server 2014 (64-bit) 各エディション	SP2
	SQL Server 2016 (64-bit) 各エディション	SPなし～SP1
	SQL Server 2017 (64-bit) 各エディション	SPなし
	SQL Server 2019 (64-bit) 各エディション	SPなし

構成例 - VMware オプション

ESXホスト(一部監視項目はvCenter)に接続して、ホストとゲストを監視
監視結果と連動して、ホストやゲストのステータスを制御可能(パワーオン/パワーオフなど)



ESXホストに対してユーザー認証

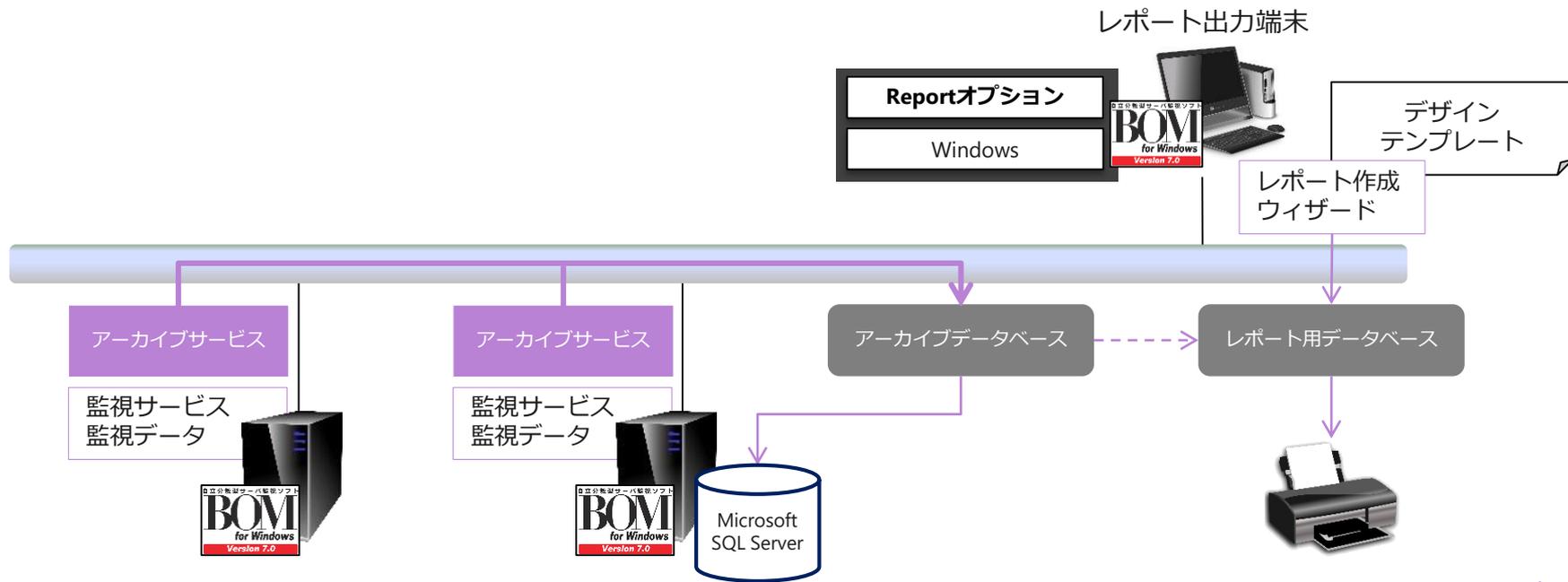
WindowsマシンにBOM for Windowsを
導入後、VMwareオプションを追加導入。

ホストだけでなく、ゲストのリソースも監視可能
(ゲストの情報はVMware Tools経由で取得)

動作環境	VMware ESXi	5.5 / 6.0 / 6.5 / 6.7 / 7.0
	VMware vSphere	5.5 / 6.0 / 6.5 / 6.7 / 7.0

構成例 - Reportオプション

BOMアーカイブデータベースに蓄積した監視ログを集計・分析し、レポート出力可能
レポートはデザインテンプレートの中から選択して出力可能
レポートはExcel形式でも出力できるため、レポートの過不足を修正の上、提出可能



導入について

自立分散型サーバ監視ソフト

BOM
for Windows

Version 7.0

製品価格

型番	JANコード	品名及び摘要	標準価格(税抜)
基本パッケージ			
B70-SV-1P	4582102403003	BOM for Windows Ver.7.0 基本パッケージ (1ライセンス、5インシデント付)	¥148,000
追加ライセンス			
B70-SV-1L	4582102403010	BOM for Windows Ver.7.0 サーバー追加1ライセンス	¥130,000
B70-SV-10L	4582102403027	BOM for Windows Ver.7.0 サーバー追加10ライセンス	¥900,000
B70-SV-50L	4582102403034	BOM for Windows Ver.7.0 サーバー追加50ライセンス	¥3,750,000
仮想用ゲストOS追加ライセンス			
B70-SV-1VL	4582102403126	BOM for Windows Ver.7.0 ゲストOS用追加1ライセンス	¥70,000
BLI-70-1VL	4582102403133	BOM Linux オプション Ver.7.0 ゲストOS用追加1ライセンス	¥70,000
B70-SV-50VL	4582102403140	BOM Ver.7.0 ゲストOS用追加50ライセンス(Windows/Linux)	¥1,500,000
オプション			
BOR-70-1P	4582102403041	BOM Oracle オプション Ver.7.0	¥118,000
BSQ-70-1P	4582102403102	BOM SQL Server オプション Ver.7.0	¥118,000
BLI-70-1P	4582102403065	BOM Linux オプション Ver.7.0	¥118,000
BVM-70-1P	4582102403096	BOM VMware オプション Ver.7.0	¥118,000
BRP-70-1P	4582102403089	BOM Report オプション Ver.7.0	¥98,000
バージョンアップ			
B70-SV-UP	4582102403157	旧Ver.パッケージからVer.7.0へのバージョンアップ(基本パッケージ)	¥30,000
B70-SV-LUP	4582102403164	旧ライセンスからVer.7.0へのバージョンアップ(1ライセンス)	¥20,000
インシデントサポート			
BOM-SP-5I	4582102390655	BOM 5インシデントサポート(6ヶ月有効)	¥100,000
BOM-SP-10I	4582102390662	BOM 10インシデントサポート(6ヶ月有効)	¥180,000
BOM-SP-20I	4582102390679	BOM 20インシデントサポート(1年間有効)	¥300,000
レポート自動出カツール			
J15-SV-1P	4582102403522	Job Director R15 基本パッケージ	¥148,000

最新の対応OS等システム要件はこちら ➡ <https://www.say-tech.co.jp/product/bomwin70/requirements>

BOM 選定ステップ例

1

製品紹介資料ダウンロード

お問い合わせ or ホームページから

2

評価版ダウンロード
(30日間利用可能)

お問い合わせ or ホームページから

3

ハンズオントレーニング受講

弊社トレーニングルーム or 出張対応も可

4

技術資料入手

お問い合わせ or ホームページから

BOM 評価版のダウンロードはこちら
<https://www2.say-tech.co.jp/bom-eval>

BOMのトレーニング

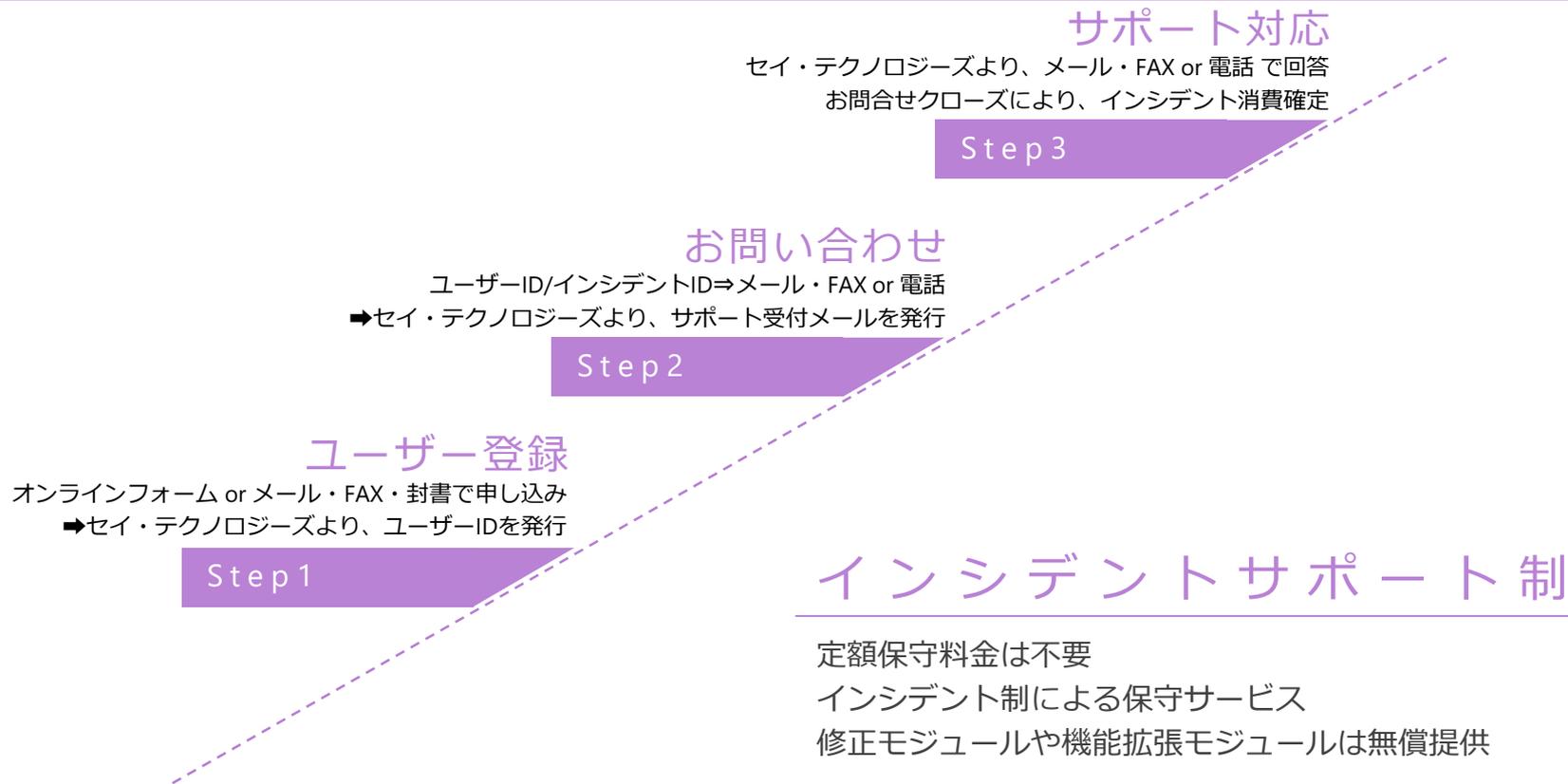
監視メーカーのトレーニングにより、各種ノウハウを習得(下記一例)

BOMユーザートレーニング導入編	
ご対象者様	<ul style="list-style-type: none">・ BOM を初めて操作される方・ BOM を具体的に検討、導入／運用(予定)される方
トレーニング概要	<ul style="list-style-type: none">☑ 前半：BOMの基本的な概要と操作の習得☑ 後半：監視設計のコツ、運用時の活用法を習得☑ 後日：「BOM技術者認定証」を進呈
トレーニング内容	<p>前半：入門(3H)</p> <ol style="list-style-type: none">1.BOMの概要2.BOMの導入3.BOMの仕組みとコンポーネント4.BOMによる監視5.BOMによる通知とリカバリ <p>後半：応用(3H)</p> <ol style="list-style-type: none">1.監視設計①-OSを監視2.監視設計②-アプリを監視3.監視設計③-監視テクニック編4.BOMの便利な導入・運用機能

BOMユーザートレーニング実践編	
ご対象者様	<ul style="list-style-type: none">・ 「BOMユーザートレーニング 導入編」を受講済み、または当該トレーニングと同等の知識をお持ちの方・ BOM を具体的に導入／運用(予定)される方
トレーニング概要	<ul style="list-style-type: none">☑ 前半：オプション製品 講座(対象製品は月替わり) BOMオプション製品の概念や操作方法、監視対象製品を監視するためのノウハウを解説☑ 後半：監視テンプレート構築 講座(毎月定期開催) Hyper-Vなどの監視項目(監視テンプレート)の作成手順を解説、監視テンプレート作成のご体験
トレーニング内容	<p>前半：BOMオプション製品(2H)</p> <ol style="list-style-type: none">1.VMwareオプションの概要2.VMwareの監視要件3.BOMによるVMware監視 <p>後半：監視テンプレート構築(4H)</p> <ol style="list-style-type: none">1.Hyper-V2.SQL Server

製品のインストールから監視、通報、リカバリまでの設定に内容を絞った「入門編」を定期的で開催しています。

BOMのメーカーサポート



定額保守料金は不要

インシデント制による保守サービス

修正モジュールや機能拡張モジュールは無償提供

お問合せの流れ 詳細：

<https://www.say-tech.co.jp/support/contact>

活用例

自立分散型サーバ監視ソフト

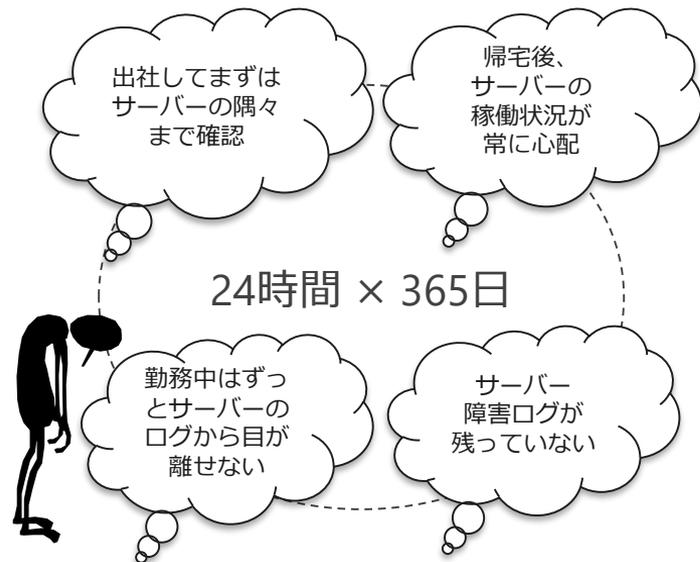
BOM
for Windows

Version 7.0

BOMの活用例 - エンドユーザー様の導入事例

日々のサーバー1台1台の状態チェック作業から、サーバー管理者様を解放
夜間や休日といった不在時の心労から、サーバー管理者様を解放

BOM導入前



BOM導入後

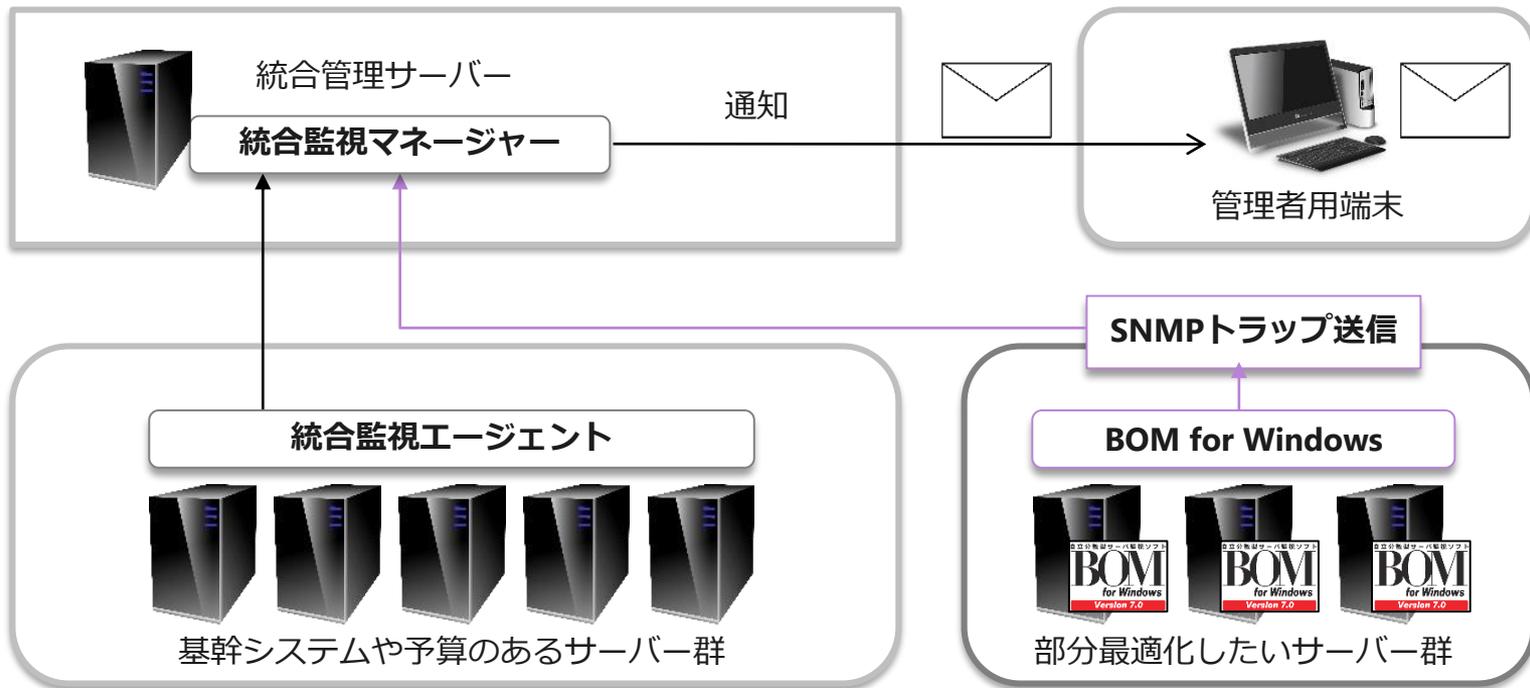
- 出勤後、BOMのメールを確認(朝監視)
⇒ サーバーの状態チェック終了
- 日中のサーバーはBOMが監視
⇒ 現場が本来やりたかったことに着手
- 夜間や休日もBOMが監視
⇒ 異常時にはBOMから通報

お金には変えられない「安心感」
日々の不安やプレッシャーから解放

BOMの活用例 - 監視結果を統合運用ツールへ

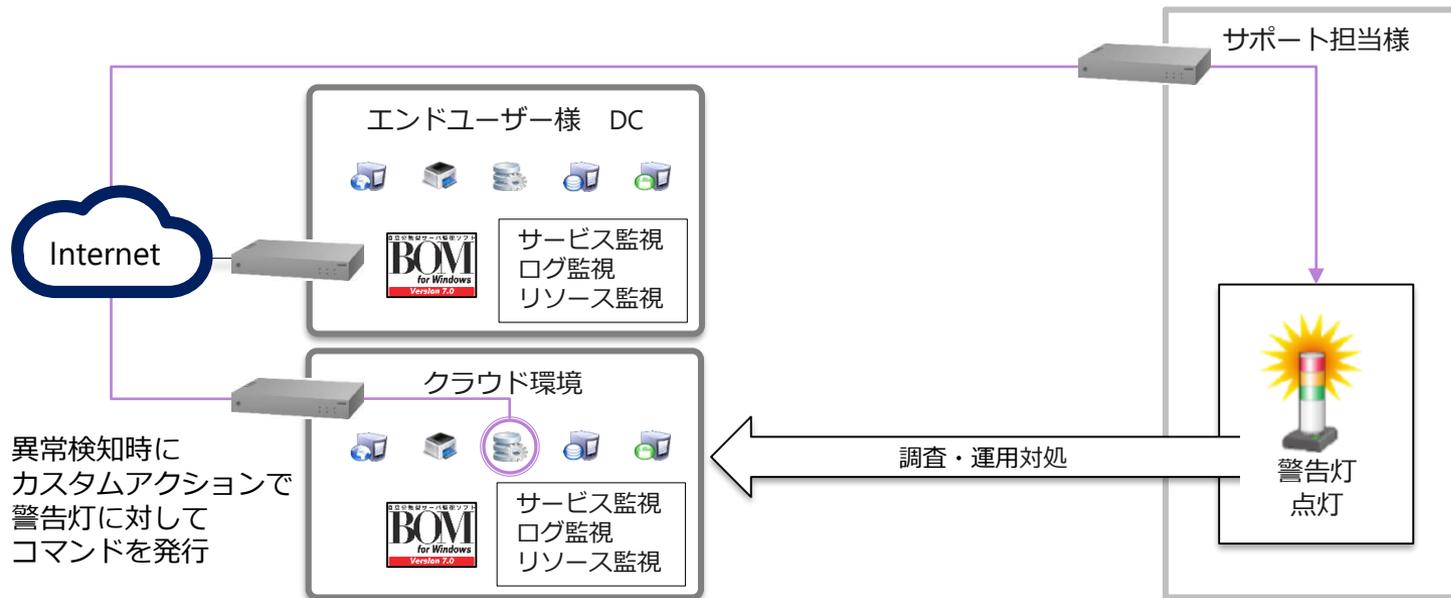
既に稼働中の統合運用ツールをカスタマイズせずに、共存が可能

BOMが検知した異常は、SNMPトラップ送信で統合管理サーバーに連携



BOMの活用例 - 警告灯連携

BOMによる異常検知時に、各種警告灯の点滅が可能
警告灯との連携により、障害を可視化



株式会社パトライト社のパトライトとの連携方法 (PRSH)

株式会社パトライト社のパトライトとの連携方法 (SNMPトラップ)

株式会社アイエスエイ社の警子ちゃんとの連携方法

⇒ <https://faq.say-tech.co.jp/bom-for-windows-ver-7-0/p283>

⇒ <https://faq.say-tech.co.jp/bom-for-windows-ver-7-0/p548>

⇒ <https://faq.say-tech.co.jp/bom-for-windows-ver-6-0/p329>



セイ・テクノロジーズ株式会社

<https://www.say-tech.co.jp>

お問い合わせ先：東京都文京区水道1丁目12-15 白鳥橋三笠ビル8階

TEL：03-5803-2461 FAX：03-5803-2463

e-mail：sales@say-tech.co.jp



Find us on Facebook

<http://www.facebook.com/SayTech.Japan>